

勝海舟生誕 200 年記念特別展「家族展」に係る修復と映像制作のご報告

「家族展」とは

2023 年3月、勝海舟生誕から 200 年を迎えました。これを記念し、当館では、“勝一家にまつわる資料”を通して、海舟 77 年の生涯を家族や身近な人の視点で紐解く特別展を全4会期に分けて開催します。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| I:「プロローグ 出帆 麟太郎と四人の先達たち」 | 令和5年1月6日～4月16日 |
| II:「家族と歩んだ幕末 留守を預かる家人たち」 | 令和5年4月21日～8月6日 |
| III:「家族と歩んだ明治 海舟書屋へのいざない」 | 令和5年8月11日～11月26日 |
| IV:「エピローグ 終着 安息の地・洗足池へ」 | 令和5年12月1日～令和6年3月10日 |

皆さまから賜ったご寄附を活用し修復・制作したものは、次の展示開催時にご覧いただけます。

- ⇒ II「家族と歩んだ幕末 留守を預かる家人たち」
- ・川村清雄が描いた海舟の親族「勝信」
 - ・川村清雄が描いた海舟の親族「勝四郎」
 - ・海舟や家族の様子を体感していただける特別展の解説映像
- ⇒ III「家族と歩んだ明治 海舟書屋へのいざない」
- ・赤坂氷川邸の様子が図示された「勝伯爵邸平面図」
 - ・川村清雄が描いた海舟の親族「勝栄」

展示資料の修復及び映像制作の過程のご紹介

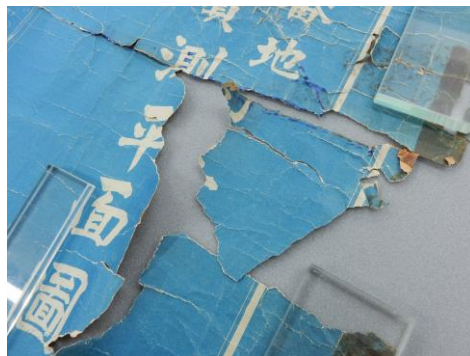
【1-1】赤坂氷川邸の様子が図示された「勝伯爵邸平面図」

修復前の状態

経年劣化による折れ目の破損や断裂、テープによる劣化、折れや巻きの癖が強く開くことが出来なかったため、ドライクリーニングによる汚損の除去、テープの除去、平らにするフラットニング、破損箇所を和紙で補強するなどの処置を依頼しました。(協力:株式会社資料保存器材)



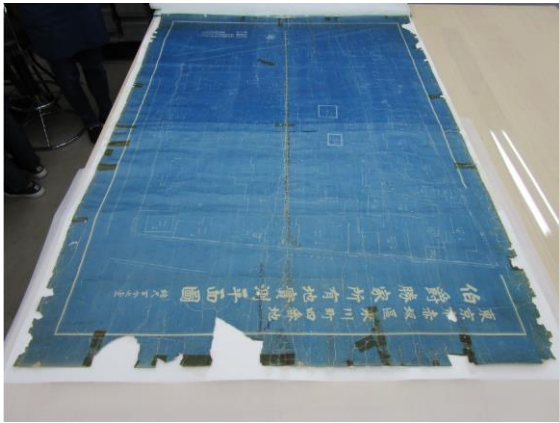
修復前



修復前

修復の様子

修復現場で、処置の進捗状況を確認してきました。その一部をご紹介します。

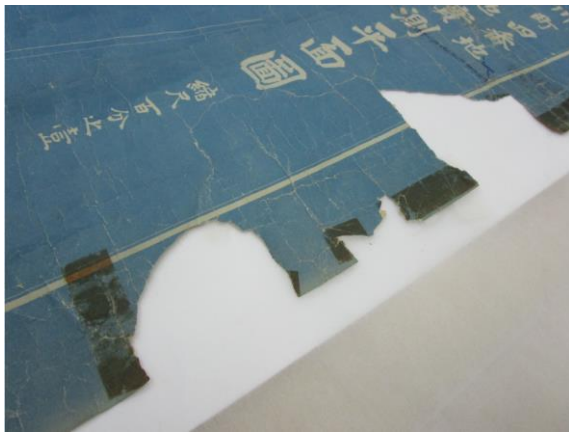


広げた様子(表面)



広げた様子(裏面)

表面の汚れを除去するドライクリーニングの後、フラットニングの処置が行われました。これは、巻や立ち上りを少しずつ加湿し、圧を加えて平らにするものです。



補強前(表面)



補強後(表面)

破損部分に充てる補強の和紙は、表と裏とで色味を変えています。将来を見通して、ゆくゆく色が変わってしまう可能性を考慮し、変色してもなじむ色合いにしてみました。

表は寒色系の青や緑系統の色味で、裏は収納時に補修した跡が見えるので、細かい破れが見えてもよいように、少し黄味がかかった色にしています。



補強後(裏面)

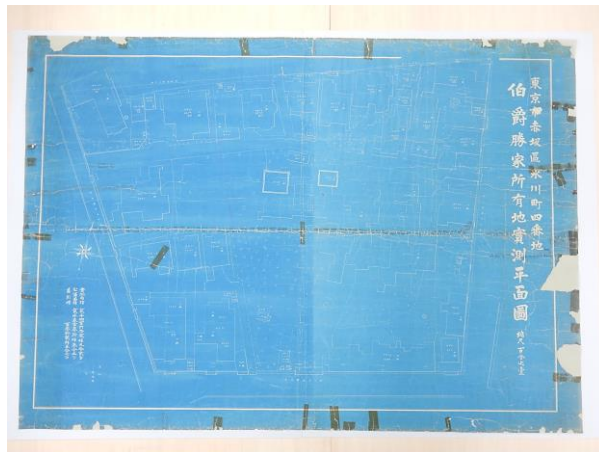
修復後

開くことの出来ない状態の要因として、巻の強さがありましたが、フラットニングを行うことで緩和され、綺麗に開くことができるようになりました。平らで扱いやすい状態です。また、ホコリなどの汚れを除去したことで、色味が全体的に明るくなりました。テープは複数箇所には付られていましたが、除去することで糊による劣化を防ぐことができました。破損部分は、和紙で補強したことで破損が広がるリスクが軽減されています。

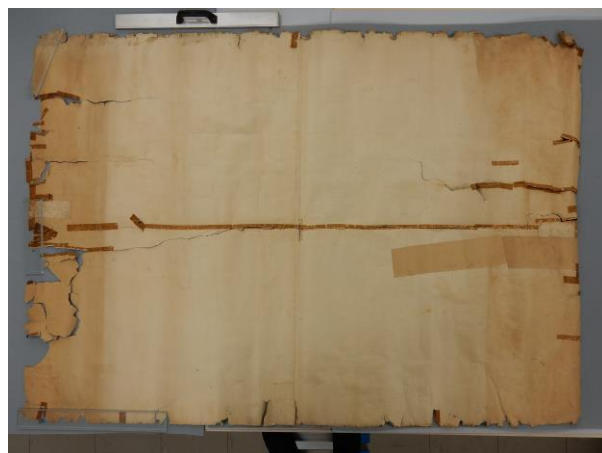
そして、折れ跡がつかないように、筒に巻いて中性紙の箱に収めて保管をしています。



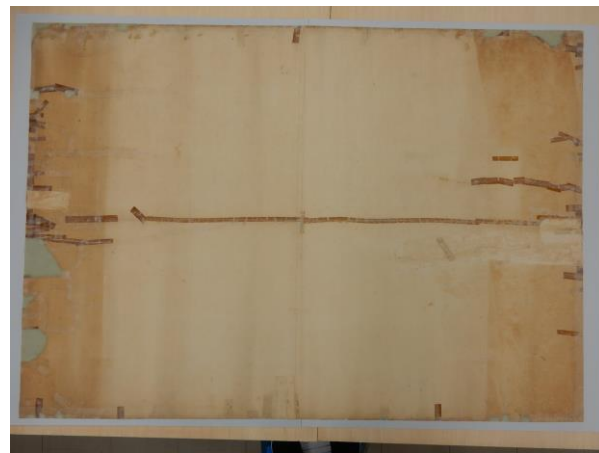
修復前(表面)



修復後(表面)



修復前(裏面)



修復後(裏面)

修復したことでわかったこと

赤坂氷川邸の広大な敷地内に、いくつもの住居が点在し、建造物の所在が精密に記されていました。

氷川邸を訪れた人々の記録と比較することで、海舟や家族が暮らした母屋や、親族や勝家の執事などの住居など、どの建物に誰が住んでいたかなどを裏付けることができます。詳細は展示で解説いたします。

展示の際は、原資料保管の観点からレプリカを制作し、皆様にご覧いただきます。

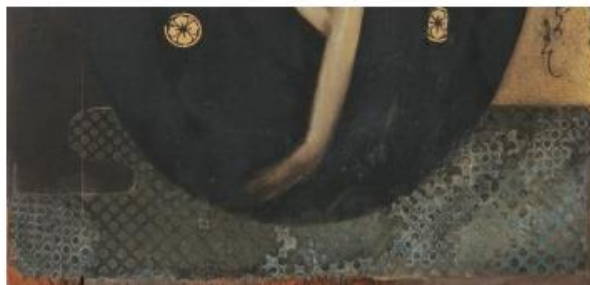
【1-2】川村清雄が描いた海舟の親族の肖像画

「勝信肖像画」

修復前は、ワニスや塗料の劣化及び汚れの沈着による茶変色や、冠水の影響による像下部のシミ、像が描かれている板のひび割れ等が顕著でした。精製水やアンモニア水を浸み込ませた綿棒でのクリーニングにより汚れを除去した上で補彩を施し、板の割れ目を補強しました。



修復前(全体)



修復(クリーニング)後



修復(補彩)後

特別展の会場で、信、四郎、栄の肖像画ともに、間近でご覧ください。

【2】特別ナビゲーターのナレーションによる、特別展の解説映像

内容

海舟の長男・小鹿がアニメーションキャラクターで登場し、特別展を解説する映像です。幕末以降の小鹿自身や海舟ら家族の動向及び様子について解説します。

特別ナビゲーター

水島大宙さん（声優）

上映場所(予定)

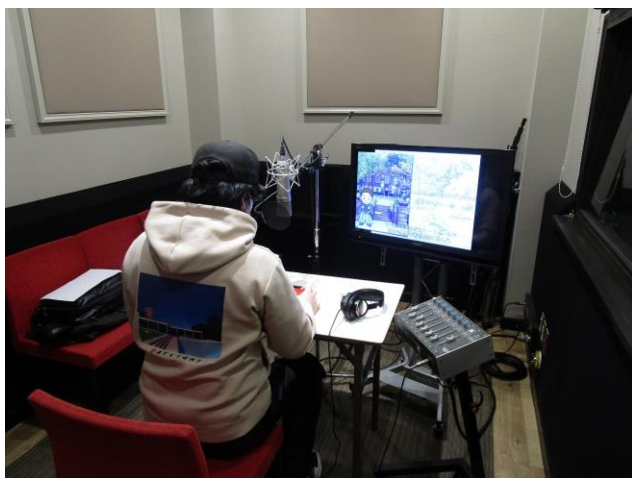
勝海舟記念館2階講堂

収録の様子

スタジオで、映像の音声収録を行いました。

収録前の打ち合わせでは、歴史用語のアクセントやルビ、言葉の意味の確認やすり合わせを行いました。

その後、モニターで映像を見ながら、話し方や雰囲気を確認しつつ収録が進みました。



収録中の水島大宙さん

より分かりやすい解説映像を皆さまに提供できるよう、一語一語丁寧に収録していただきました。
是非会場で、完成した映像をお楽しみください。